



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690  
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169  
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117  
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成27年 7月17日 発行

# 海外留学の累計1000人を超す

今年度は73人 8月から5カ国へ 2・3面

ベトナムから初めての外国人留学生 6面

初の高校生英語スピーチコンテスト 5面

スマホ向け専用サイトを新設 8面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は [nuischannel@nuis.ac.jp](mailto:nuischannel@nuis.ac.jp) までお問い合わせください。

PHOTO : 山崎 智洋 (情報文化学科4年)

## CONTENTS

### 2・3面

充実の日々、スキルアップ誓う  
派遣留学・夏期セミナー壮行会

### 4・5面

地域活性化の願いに応えて  
「赤塚の宝物」めぐり講演、意見交換  
「笹山じょうもん市」祭りに参加  
教員の活動

カナダから教員海外研修便り

### 6・7面

24人に表彰奨学金を贈り激励  
スポーツ大会盛り上がる  
「ズームアップ研究室」

平成28年度入試日程概要一覧

### 8面

オープンキャンパス案内  
卒業生の便り・博士の学位  
学生会館に「MELFカフェ」



NUISホームページ  
<https://www.nuis.ac.jp>  
(スマートフォン対応)



Facebookページ  
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@  
[@nuis-line3111](https://line.me/j/nuis-line3111)

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録



# 夢は大きく5カ国へ73人が挑戦

## 充実した日々を過ごしスキルアップ誓う

派遣留学(国際文化学科)と海外夏期セミナー(情報システム学科)に参加する学生の壮行パーティーが6月17日、本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。今年度はアメリカ21人、ロシア6人、中国12人、韓国13人、そしてカナダ21人の合計73人が1〜4カ月余の海外生活を体験してきました。

派遣留学(国際文化学科)と海外夏期セミナー(情報システム学科)に参加する学生の壮行パーティーが6月17日、本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。今年度はアメリカ21人、ロシア6人、中国12人、韓国13人、そしてカナダ21人の合計73人が1〜4カ月余の海外生活を体験してきました。

## 8月6日から出発

を広めたいと考えています。  
・平野 巧 一生懸命 頑張ります！  
・福王寺 啓 留学を通していろいろなことを吸収し、今よりもっと大きな人間になりたい。  
・齋藤優介 友人をたくさんつくり国際的な人間になりたい!!  
・木村颯人 とにかくいろいろなことを頑張りたいです!  
・倉島由衣 アメリカに留学するからには語学はもちろんのこと、アメリカ人と触れ合い、歴史やその土地の空気まで、全て体感してきたいと思っています!

多くの人と交流し、いろいろな経験をしたい。  
・前谷英里 失敗を恐れずに、たくさんコミュニケーションを取るように頑張りたいです。  
・長部亮太 留学を通じて自分の意思で行動できるようにしたいです。また、ロシア語の発音がしっかりとできるように頑張りたいです!

### アメリカ(国際文化学科2年)

・上村果穂 壮行会で共に留学する仲間と絆を深めることができ、留学への意欲がさらに高まりました。  
・青柳実希 失敗することを恐れずにいろいろな経験を積んでいきたいです。  
・五百川優子 積極的に現地の方と交流し、語学力を身につけ、文化に触れたいです。  
・角田絵里奈 中学生のころから海外へ留学することが夢でした。その時の気持ちを忘れずにしっかりと学んでこようと思います。

上できるように頑張ります。  
・横山知佳 積極的に行動し、アメリカだけに限らず、さまざまな文化に触れ、しっかりと英語力を向上させます!  
・東あかり 今はまだ不安でいっぱいですが、悔いのないように積極的にいろいろな経験をしたいです。  
・石川歩美 初めての海外で不安もたくさんありますが、異文化に直接触れる良い機会なので積極的に頑張りたいです。  
・堂口梨奈 初めての海外なの

で落ち着いて行動したいです。  
・野中喜勢 語学力を向上させ、学習面でも精神面でも今よりも成長してきたいです。  
・山田夏美 語学力を伸ばすことに、そして、コミュニケーション力を身につけること!成長して帰ってきたいと思っています。  
・吉田真子 多くの人とたくさん交流し、外国の文化を学び、勉強も頑張りたいと思います。  
・小柴香琳 異文化に触れただけでなく、精神面でも成長し、視野

### ロシア(国際文化学科2年)

・野俣佳那 ロシアの文化や言葉をしつかり身につけられるように頑張ります。  
・長崎春花 自分から積極的に話しかけて行動していきたいと思っています。  
・小野寺風音 ロシアでしか味わえない独特の雰囲気や文化にじかに触れ、いろいろなことを体験すること、その後の学生生活に生かしていきたいです。  
・伊藤さくら 異文化に触れ、

・浅野友彦 初海外!不安や期待で複雑な気分ですが、多くを学び持ち帰れるよう頑張りたいです。  
・林 真由 留学で自分の殻が破れたら良いなあと思います!  
・永井琢也 とにかく一生懸命頑張る!!  
・野口大貴 友人をたくさんつくり、中国語も頑張つて、留学を満喫したいです。  
・石田眞依子 ちゃんと話せるように頑張ります。また、中国の文化もたくさん学んできたいと思っています!  
・水信里穂 語学力の向上!!  
・中川菜緒 留学して語学を学ぶのはもちろんのことですが、文化などさまざまなことを学んでこようと思います。  
・細野未佳 中国語をマスターして、自分の目や耳で本当の中国のことを深く理解したいと思っています。  
・川俣朝翔 中国と日本の架け橋になれるよう頑張ります!  
・池田理紗 この留学を十分に活用したいと思っています。頑張ります!  
・田中久幾 もちろん中国語を習得していきます!  
・広瀬拓未 人生で一度!と言ってもよいくらい貴重な経験になると思いますので、有意義なものにしていきたいです。

### 派遣留学 ロシア ウラジオストク国立経済大学

### 派遣留学 アメリカ ノースウェストミズーリ州立大学

・若本真子 異文化に触れ、コミュニケーションを取り、充実した留学生活にしたいです。  
・吉野紗絵里 ネイティブとの交流や文化を知りたいです。留学先にはアメリカ人以外の外国人もいると聞いているのでさまざまな話をしたいです。とても楽しみです。  
・竹田眞子 多くの国の文化に触れて、自国との違いを発見したり共通点を見つかったりさまざまなことを学んでいきたいです。英語のスキルも今よりもっと向



アメリカ



ロシア



中国





夏期セミナー カナダ アルバータ州立大学



派遣留学 韓国 慶熙大学校



派遣留学 中国 北京師範大学

韓国 (国際文化学科2年)

・坂井静華 悔いのない留学になるよう、現地では積極的に学び、楽しんでくる！

・清野知代 今より語学力をつけられるよう頑張りたいです。また、たくさんの方の事を学び、思い出に残るような日々を過ごしたいです。

・玉木風美子 韓国語を選択したのは、初めは軽い気持ちからでした。しかし、言葉がだんだん理解できるようになり、韓国の歴史、特に日本との問題について学んでいくことで、どんな関心を持つようになりまし

・中川桃花 今、学んでいる韓国語を、留学先でもっと上達させ、友人をつくり、仲良く過ごしたいです。

・広木玖実依 有意義な半年にしたいです。自ら積極的に行動し、たくさんの方の経験をして帰国します！！

・菅家新治 韓国と日本をつなぐ架け橋になれるよう頑張ります！！

・木下晴香 韓国の文学が好きなので、現地ではたくさんの方の本を読んで美しい文学に触れたいです。頑張ります！！

・増子華乃 韓国の文化や韓国語を学ぶことをとても楽しみにしていますので、勉強に追われて大変なこともたくさんあるかと思いますが、一生懸命頑張りたいです！！

・三宅夢華 一日も無駄にせず、韓国語や文化を学んで充実した留学生活を過ごしたい。

・田中瞳 日常会話ができるようにきちんと勉強し、たくさんの方のコミュニケーションを取るようにしたいです。他の国



韓国



カナダ

・加藤展人 一生懸命、頑張っています！！

・小林優花 今より英語がもっと話せるようになりたいです。

・牧太一 英語をペラペラに話せるようになりたい！！

・蓮沼光 留学頑張ります！！

・今井淳貴 日常会話ができるようになりたいと以前から考えていたので、とても良い機会だと思いい、参加することにしました。頑張ります。

・小杉真由 今回の留学の一番

の方もいるので英語も上達すると良いなあと思います。一日一日を大切に、たくさんの方の事を吸収したいと思っています。

・永井瞳 留学メンバーの仲の良さを生かして、楽しくかつ学びの多い留学にしていきたいです。行ってみます！！

・田澤怜生 今しかできない貴重な経験をたくさんして楽しんできたと思います。

・平尾芽吹 韓国語を一生懸命勉強したいと思っています。勉強、頑張るぞ！！

・高見拓希 一生懸命、頑張っています！！

・亀山裕樹 留学を決意したからには、まずは楽しみたいと思います。友人をたくさんつくり、充実した生活を送りたいと思います。そして、TOEICのスコアを今より100点以上アップします！！

・佐藤諒子 1カ月という短い期間ですが、日本では味わえない

の目標は「日本とカナダの文化の違いを知る」ことなので、この目標が達成できるようにカナダで多くの刺激を受けて日本に帰ってきたいと思っています。

・小出瑞季 語学向上はもちろん、異文化交流を積極的に進めてきたいと思っています。

・高橋優華 独自の文化や食生活についてしっかりと学びたいです。1カ月間、海外で勉強することは、この先なかなか出来ることではありません。この貴重な体験を今後、さまざまな場面で役立て、一生の思い出になるよう頑張ります。

・山村亮 日本とは違う風習と触れ合いたい、異文化理解を深めたいと思います。

海外留学・夏期セミナー参加学生の累計

	アメリカ	ロシア	中国	韓国	カナダ	計
平成 7年度	13	7	29	14		63
平成 8年度	17	20	15	13		65
平成 9年度			31			31
平成 10年度	14	7				21
以上 海外研修計	44	34	75	27		180人
平成12年度			30		20	50
平成13年度	17	6	15	12	14	64
平成14年度	13	3	17	9	17	59
平成15年度	11	1	〈中止〉	4	6	22
平成16年度	13	2	31	7	8	61
平成17年度	12	5	18	13	22	70
平成18年度	7	0	9	5	3	24
平成19年度	25	12	16	10	9	72
平成20年度	12	9	9	7	13	50
平成21年度	13	11	6	4	12	46
平成22年度	16	7	10	11	9	53
平成23年度	13	7	18	13	4	55
平成24年度	14	7	13	7	12	53
平成25年度	27	5	10	10	23	75
平成26年度	16	18	8	11	10	63
平成27年度	21	6	12	13	21	73
計	230	99	222	136	203	890
合 計	274	133	297	163	203	1070

・川端夢未 国で味わってきた経験が「カナダ」という国でまた増えると思います。友人们もたくさんつくりたいです。海外でたくさん友人をつくりたい！！

・廣川秀紀 英語でコミュニケーションが取れるようにしたい。まずは日常会話からチャレンジ。

・野崎航平 学生だからこそできるこの機会を生かし、有意義な異文化交流をしたい！！

・後藤颯樹 生活スタイルや文化をしっかりと学びたい。英語で会話できるスキルを身につけたらいい！！

・清田岬 ハプニングなく、無事安全に帰って来られたら良い！！

・太田隼人 日常会話ができるように頑張ります！！

・谷川徳由貴 けがなどせず、無事に帰ってきたいです。齋藤賢矢 自分の目標を達成するために努力したいと思っています。

国名／留学大学	留学期間	参加人数
カナダ アルバータ州立大学 生涯教育部	平成27年 8月6日～9月6日	情報システム学科 2・3年次 21人
アメリカ ノースウエスト・ミズーリ州立大学 教養学部	平成27年 8月26日～12月19日	国際文化学科 2年次 21人
ロシア ウラジオストク国立経済大学	平成27年 9月8日～12月29日	国際文化学科 2年次 6人
中国 北京師範大学	平成27年8月30日～ 平成28年1月10日	国際文化学科 2年次 12人
韓国 慶熙大学校 国際教育院	平成27年 8月31日～12月25日	国際文化学科 2年次 13人
参加学生数合計		73人

平成27年度のスケジュール表(出発順)

赤塚・中原邸保存会の総会が5月24日、メ  
イワサンピアで開かれ  
「未来に贈る赤塚の宝  
物」と題し公開講演の  
機会を頂きました。熱  
心な会員などの方々  
と、豊かな自然環境と  
史跡や文化財などの魅  
力再発見と活用につき  
意見交換もあり、本学  
に地元の方  
による「赤  
塚学」伝授  
の講座設置  
の提案も行いました。  
赤塚の中原家は、江  
戸時代末期には乳の湯  
（現在の藤蔵新田）の  
新田開発に尽力、明治  
時代には290町歩に  
及ぶ大地主でした。赤  
塚・中原邸保存会は、  
当時の姿で現存する明  
治天皇行在所であり明  
治大正時代の  
建築様式  
の主屋、シ  
イの木の大  
茂る庭園や竹林など、  
中原邸の歴史文化的資  
源を地域の財産として  
後世に伝える目的で発  
足。中原邸一般公開・  
佐潟桜まつりや笛巻能  
会の開催、竹林やツツ  
ジ園の整備などに精力  
的に取り組んでいま  
す。

赤塚地区は日本一長

会、赤塚郷土研究会、

あげます。

## 「赤塚学」の講座も提案



す。また赤塚周辺は、  
新田開発により日本一  
の水田が広がる豊かな  
地域でもあります。  
赤塚の宝物とは、こ  
のような自然環境や蓄  
積された文化財や恵ま  
れた社会基盤にとどま  
らず、誇りや郷土愛に  
支えられた中原邸保存  
会、赤塚郷土研究会、

## 「未来に贈る赤塚の宝物」

い新潟砂丘の西端に位  
置し、ラムサール条約  
登録湿地で日本最大級  
の砂丘湖である佐潟、  
双耳峰で高さが東京ス  
カイツリーと同じ63  
4mの弥彦山と多宝山  
が一望でき、目の前の  
角田山と合わせ佐渡弥  
彦米山国定公園の特別  
指定地域となっていま  
す。

講演では、佐潟と御  
手洗潟および複数の砂  
丘列が同時に見える砂  
丘散策や、砂丘のあち  
こちに咲き誇る山桜の  
模様なども  
紹介しまし  
た。赤塚に  
立地する本  
学として例え、新潟  
砂丘の変遷に関する情  
報の収集や記録、英語  
に加え中国語・ロシア  
語・韓国語版の赤塚・  
佐潟紹介パンフレット  
の作成を通じた情報発  
信などの提案も行いま  
した。

懇親会では、眞島幸  
平新潟市西  
区長、高橋  
三義新潟市  
議会議長は  
じめ地元の有志の皆さ  
まから貴重な意見を頂  
きました。今後も赤塚  
の宝物を再発見し、よ  
り確かなものとするた  
め微力を尽くしたいと  
思います。最後に保存  
会の斎藤敏夫会長はじ  
め関係者に、この場を  
お借りしてお礼を申し  
あげます。

## 教員 海外研修便り

### カナダ・アルバータ州立大学から

情報システム学科・講師 中田 豊久



昨年9月から1年間、  
カナダ・アルバータ州立  
大学で学んでいます。海  
外研修のテーマは、①初  
学者向けプログラミング  
教育に関する研究②自分  
自身の英語の勉強です。  
この二つは、一見関係が  
無いように見えるのです  
が、実はとても深く関係  
し合っています。

われわれ大学教員は、  
自分自身の「得意分野」を  
授業で教えています。そ  
のために自分自身が学ぶ  
側だったときに、つまず  
いたり分からなくて困っ  
たりした経験が少ない、  
ということがあります。  
この「つまずき」の少な  
さは、学ぶときは良いの  
ですが、教える側になっ  
たときに致命的な問題に  
なってきます。教えるこ  
うことを学習者が「分  
からない」という  
状態から「分かっ  
た」という状態へ  
の変化をサポート  
することだとする  
と、この「分からな  
い」という状態を  
理解し、その上で  
なにか「分かる」  
への変化をもたら  
すのかを教える側

## 自身の英語学習で「分かる」を実践

が知っている必要があります。  
そこで、自分自身が「分  
からない」ことに対して  
勉強することによって、  
「分からない」とは何か、  
そして何が原因で「分か  
る」ようになるのかを実  
践を通して日々考えてい  
ます。勉強する題材とし  
て選んだものは、私が最  
も不得意とする「英語」  
です。①の方のプログラ  
ミングと同じ言語なの  
で、勉強方法として類似  
しているところが多々あ  
ります。このことも、英  
語を選択した理由の一つ  
になっています。  
以上の理由から、ハタ  
チそこそこの学生に交  
じって英語の授業に出て  
いました。全くついてい  
けません。授業をさぼろ  
うかと思うときもありま  
した。ですがこの経験が、  
教える側に戻った時に役  
に立つと思い、頑張っ  
ています。

- ①の研究に話を戻す  
と、大学の Philosophy  
and Humanities Comput-  
ing (哲学と人文科学コン  
ピューティング学部)の先  
生方と研究の話をさせて  
いただきながら、具体的  
にプログラミング学習の  
教材を作成しています。  
そして自分自身の英語学  
習で得たノウハウが入っ  
て、公開しています。
- ・(2015年2月19日) (講演) 『電気通信の歴史と将来』第42回地域産官と技術士合同セミナー (公益財団法人日本技術士会)
  - ・(2015年4月22日) 新潟市西区自治協議会委員就任
  - ・(2015年5月24日) (講演) 『未来に贈る赤塚の宝物』(赤塚・中原邸保存会総会)
  - ・(2015年5月30日) 経営情報学会より感謝状受賞 (小林満男・佐々木桐子・内田亨)
  - 近藤 進(情報文化学部 情報システム学科・教授)
    - ・(2015年5月25日) 信越情報通信懇話会・情報通信利用環境委員会委員長
  - 藤本 直生(国際学部 国際文化学科・准教授)
    - ・(2011年4月1日より継続) Asian EFL Journal, Associate Editor
    - ・(2012年9月1日より継続) The Asia-Pacific Education Researcher, Springer, Occasional Reviewer
    - ・(2012年10月1日より継続) British Journal of Education, Society & Behavioural Science, Occasional Reviewer
    - ・(2013年1月10日より継続) English Scholars Beyond Border, Foundation Member
- 越智 敏夫(国際学部 国際文化学科・教授)  
・(2015年4月1日~12月31日)に於いた市民大学「新潟150年史その世界的な位置」講座コーディネーター  
・(2013年4月1日~2017年3月31日) 新潟市男女共同参画審議会委員  
・(2005年4月1日より継続) FMポート「モーニング・ゲート」時事解説  
神長 英輔(国際学部 国際文化学科・准教授)  
・(2015年6月6日) テレビ朝日系「池上彰のニュースってそうだったのか」(6月6日放送分)の制作に協力  
・(2015年2月21日) 著「北洋の誕生」が『週刊ダイヤモンド』で紹介される。『毎日新聞』(2015年2月22日)、『読売新聞』(同)で書評。『出版ニュース』(2015年3月上旬号)で紹介。『図書新聞』(2015年6月6日号)で書評  
小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)  
・(2015年2月4日) (通信設備に関する意見書)「水門・陸開等の操作の遠隔化」岩手県津波防災技術専門委員会 (岩手県県土整備部河川課)





## 初の高校生英語スピーチコンテスト

### 「国際交流フェア」

BSNで  
放映

国際交流フェアが5月31日、新潟中央キャンパスにて開催され、高校生による英語スピーチコンテストと、本学学生による留学報告会が行われました。盛会となったフェアの様子は6月12日にBSNテレビ「とれたて情報館」でも紹介されました。

高校生英語スピーチコンテストは初めての試みで、県内の高校から14名が参加しました。「私ができる国際交流」と題したスピーチの内容はオーストラリア、ブラジル、韓国、アフリカなどさまざまな地域と、ホームステイなどの海外経験や日ごろ関心を持って集めている世界の情報を踏まえたものでした。いずれも素晴らしいスピーチで、審査委員長を務めた本学の高橋正平先生、藤本直生先生、ポール・ティキンソン先生、そして新潟テレビ21の村山朋彦営業部長による厳しい審査の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名、そして奨励賞11名が決まりました。

（国際交流委員長・国際文化学科教授 吉澤文寿）

「笹山じょうもん市」というのは、十日町市で発掘された新潟県唯一の国宝である「火焔型土器」を祭ったイベントです。太鼓やダンス、ゲストのトークショーと祭り運営のお手伝いで

### 深い郷土愛と地域活性化の願い

くの人にお話を伺うことができました。その中で、このイベントが続いてほしいという地元の方々の郷土愛を感じられ、強く印象に残っています。また、私たちはイベントの設営をお手伝いさせていたいただいたのです

て素晴らしいじょうもん市になり、また笹山に来てもらうことを楽しみにしています」とお礼のメールまでいただき、私たちとしては満足のいく活動となりました。今後は今回の調査で得ら

れたことをもとに、イベントのさらなる発展や地域活性化を目指して活動していきたいと思っています。こうした機会をつくってくださった星野理事長、小宮山智志先生、内田亨先生に深謝いたします。

情報システム学科3年 鈴木 康司



## 教員の活動（本人申告による）

### 1) 研究論文・図書

小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2015年3月31日)「PBLによる情報システム開発教育の実践」『新潟国際情報大学研究紀要』

白井 健二(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2015年)「On-off Intermittency Management for Production Process Improvement」『International Journal of Innovative Computing, Information and Control』11(3) 815-831  
・(2015年)「Calculating Phase Transition Widths in Production Flow Processes using an Average Regression Model」『International Journal of Innovative Computing, Information and Control』11(3) 1075-1091

吉澤 文寿(国際学部 国際文化学科・教授)

・(2015年)「日韓会談10問10答」『歴史地理教育』835号 (4-13頁)  
・(2015年)「日韓会談関連外交文書公開運動の成果と課題」『コリアン・スタディーズ』3号・(78-82頁)  
・(2015年)「『日韓会談1965 戦後日韓関係の原点を検証する』高文研251頁  
・(2015年)「(新装新版)戦後日韓関係 国交正常化交渉をめぐる」クレイン420頁  
・(2015年)安藤正人・吉田裕・久保亨編 他『歴史学が問う 公文書の管理と情報公開 特定秘密保護法下の課題』大月書店94-121頁  
・(2015年)東郷和彦、波多野澄雄編 他『歴史問題ハンドブック (岩波現代全書065)』岩波書店48-57,58,125頁  
・(2015年)木宮正史、李元徳編著 他『日韓関係史 1965-2015 I 政治』東京大学出版会299-322頁

### 2) 学会・研究会・講演等

安藤 潤(国際学部 国際文化学科・准教授)

・(2015年5月30日～5月31日)「アイデンティティ経済学と共稼ぎ夫婦の妻の家事労働行動：JISC2000～2008パネルデータを用いた実証分析」(日本経済政策学会第72回全国大会 国士館大学梅ヶ丘校舎)

近山 英輔(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

・(2015年6月29日～7月2日) S. Tomita et al.「NMR-based metabolic profiling of potato leaves for identification of potential metabolic indicators in relation to common scab of potato tubers」(METABOLOMICS 2015 San Francisco, USA)

吉澤 文寿(国際学部 国際文化学科・教授)

・(2015年6月17日～6月19日)「日韓諸条約の評価をめぐる日韓関係—基本条約第2条、請求権協

定第2条1を中心に) (日韓国交正常化50周年記念国際学術大会 韓国・済州島)  
・(2015年6月6日)「日韓会談と在日朝鮮人」(在日韓人歴史資料館 東京・港区)  
・(2015年6月15日)「日本の朝鮮現代史研究の量的分析」(早稲田大学韓国学研究所 早稲田大学)  
・(2015年6月20日)「日韓条約とは何だったのか—日本と朝鮮との関係の未来のために問い直す」(競戦70年・日韓条約50年「日本と朝鮮半島の平和な未来のために」東京・豊島区)

### 3) 競争的資金獲得研究

内田 亨(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2015年6月～2016年3月)大学生の力を活かした集落活性化事業「妙高市燕温泉集客策の提言による地域活性化」研究代表者(新潟県総務管理部地域政策課)  
・(2015年4月～2018年3月)「Japan's International Human Resources - Individual's Culture-Specific Skills and Roles in MNCs」分担者(日本学術振興会挑戦的萌芽研究)  
・(2015年4月～2018年3月)「水産養殖ビジネスへのビジネスモデルとイノベーションの応用可能性に関する研究」分担者(日本学術振興会挑戦的萌芽研究)  
・(2013年4月より継続～2017年3月)「水産養殖事業のビジネスモデルに関する国際比較研究」研究代表者(日本学術振興会基盤研究B—般)  
・(2014年4月より継続～2017年3月)「組織における成員の幸福と業績を両立させるモデル構築とそのメカニズムの研究」研究代表者(日本学術振興会挑戦的萌芽研究)

吉澤 文寿(国際学部 国際文化学科・教授)

・(2015年4月～2018年3月)平成26年度科学研究費助成事業基盤研究(B)「日韓国交正常化以後の請求権および歴史認識問題の展開過程の検証について」研究代表者

### 4) 委員・社会的活動・記事・その他

安藤 潤(国際学部 国際文化学科・准教授)

・(2015年5月31日)日本経済政策学会第72回全国大会自由論題報告・村田慶「教育選択と出生率および経済成長」討論者(国士館大学梅ヶ丘校舎)

内田 亨(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2015年4月18日～2016年3月31日)日本経営品質学会理事  
・(2015年4月1日より継続～2016年3月31日)NOSA新潟コンプライアンス委員  
・(2015年3月18日)内田研究室の卒業研究生である4年土田悠太が新潟県総務管理部による「大学生の力を活かした集落活性化事業」の最終報告会にて「温泉集客策の提言による地域活性化～妙高市燕温泉を事例に～」発表が「NHKおはよう日本」にて放映される(新潟県庁)

# 自分の夢を実現するために

情報システム学科1年 チャンバン キエン

私は、自分の夢を実現するために、日本にきました。日本語学校で1年半くらい日本語に取り組み、新潟国際情報大学に入学できるようになりました。

合格通知をもらった時に、これからの人生が変わり、自分の夢を一步一步実現できると思い、非常にうれしく感じる一方で、心配なことも出てきました。

日本での大



学生生活は厳しいし、専門知識が難しい。大学では、私のような外国人は少なく、言語の壁で人間関係がうまくいくかどうか、友達ができるかなどの心配がいつぱい出てきました。

入学の前日に、自分は大学生活をうまくやっていけるのだろうかという疑問が、常に頭の中を回っていました。しかし、入学後のクラスガイダンスを受けたり歓迎会に参加したり

高だと思えます。今は、自分の夢を実現するために、この大学に決めたのは絶対間違いではない、この大学に留学できたのは良かったと思っています。これから、大変なことがたくさん出てくると思いますが、自分で選んだ道ですから、最後まで頑張りたいと思います。

## スポーツ大会

大会実行委員長 古川 静馬  
(情報システム学科2年)

### チームの勝負に歓声

今年度のスポーツ大会は、ソフトボール、バスケットボール、サッカー、チームレスリングをエントリ種目とし、フリースローを自由参加の種目としました。種目数は昨年よりも少なくなりましたが、多くの学生や教職員から参加していただき大いに盛り上がりました。当日はほぼ一日中体育館にいたので、来年も開催し、さら



に盛り上げて親睦がいつそう深まるように良い大会となるように精いっぱい頑張りたいと思います。皆さまの協力で無事終了できて、あらためて感謝いたします。

### 学業や課外活動で大活躍

学業や課外活動に頑張っている学生たちをたたえる、表彰奨学金の授与式が7月9日に行われ、平山征夫学長から



## 24人に表彰奨学金

24人に証書と奨学金が贈られました。学長の激励に、学生たちはいつそうの活躍を誓っていました。

今年度の表彰学生は、学業優秀者(前年度の修得科目の成績が各学年・学科において優秀であった者)が17人(国際文化学科2人、情報文化学科6人、情報システム学科9人)で各30万円。また、課外活動では学生自由研究発表会で3位、外国語スピーチコンテストで1・3位、スポーツで全国大会に出場するなど活躍した、合わせて7人にそれぞれ10万円が授与されました。

## 湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 小宮山 智志

十日町市の中条地区の祭り「じょうもん市」に内田研究室のメンバーと共に参加した。同研究室では祭りの準備に協力し、さらに来場者の独自のインタビュー調査を行い、今後の祭りの発展と地域活性化の一役買わうことができればと考え、活動しているのとことだ。

「じょうもん市」は5千年前の縄文時代の遺跡で行われる祭りだ。新潟県唯一の国宝、火焔型土器(のレブリカ)に聖火が灯されようとしている。まさにここが東京オリンピックの聖火台に火焔型土器のデザインを採用を目指す運動の中心地だ。縄文時代は比較的戦争のない平和な時代だったといわれている。その文化を世界に発信するのが目的だ。

新潟県人口問題対策会議によれば、本県の人口流失の契機の一つに県外への大学進学が挙げられている。県内高校生のうち大学・短大進学希望者が約1万人、そのうち60%以上が県外へ進学し、彼らの多くは県外において就職する。

県外の大学にない地域の大学の魅力とは、自分のアイデア、想いを生まれ故郷新潟のために活かすこと、大学での学びを結びつけることができることではないだろうか。地域の人々と一緒に考え、問題解決に必要なことを大学で研究し、そして実践する。学生と接していると、彼らの地域を愛する心に驚かされる。この想いが学びの原動力になっている。

産学官民が連携して、若者と共に地域を盛り上げていく仕組みを構築することができれば、人口流失を防ぐ一助になるのではないだろうか。本学は21年前に情報文化の創造とさらなる発展に貢献する人材の育成を通じて、世界平和の実現を目指し開学した。学生の真剣な眼差しに、初心を貫徹する決意を新たにしたい。



語既修者であり、そもそもロシアに関する知的な関心があります。ただ、3年の初めの時点では、多くの参加者の関心は漠然としたものにとどまっています。3年の演習では

履修者の大半はロシア語既修者であり、そもそもロシアに関する知的な関心があります。ただ、3年の初めの時点では、多くの参加者の関心は漠然としたものにとどまっています。3年の演習では

神長研究室の授業は広義の「ロシア学」に関わる専門書の精読とロシア語テキストの精読の2本立てです。毎回の授業の前半はロシア史やロシア文化に関する専門書を読みます。予習が義務であり、授業中は全員が私からの矢継ぎ早の質問にさらされます。後半はさまざまな種類のロシア語を丁寧に読みます。最近ではチェーホフなどの小説を読むことが多いです。どんな本を読むか、どんなロシア語を読むかは全て話し合っ決めていきます。いずれも予習にはなかなかの時間がかかるようです。3年の後半からは月に1回程度、卒業論文の報告会が加わります。3年の後半で大きなテーマを固め、4年の夏休みには全員が本文を書き始めます。珠玉の論文が生まれる年もあり、そうした論文からは私も多くのことを学びます。

## 国際文化学科 神長 英輔 准教授



## ロシア学など専門書を精読、日本語力も鍛錬

専門的な知に触れながら自らの興味を具体的な問題に発展させていくことを求めています。ロシア学やロシア語と並ぶ、授業の目的のひとつが日本語力の鍛錬です。言語能力はすなわち思考力であり、言語的な実践なくして思考力は向上しません。毎回の授業ではある分量以上の発言を全員に義務づけています。文章の提出も頻繁に求められます。参加者はうまく言えないもどかしさにもだえつつも、とにかく何かを話すするなかで、より複雑なことをいつの間にか表現できるようになっていきます。進歩の過程は穏やかなので参加者の多くは成長をあまり実感できていないようですが、傍から見ていると、なかなか感動的な過程です。

東日本大震災以降、原子力発電の再稼働の議論も活発です。食品の汚染被害、風評被害など生活に多大な影響を及ぼしているからです。放射能は目に見えませんが、健康との因果関係も未だ詳細は不明です。だから不安です。私は原発は危険だと考えています。しかし何がどのように危険なのか、自分の言葉で説明できません。そこでチェルノブイリ原発事故を調べて原発について知ろうと考えました。なぜならチェルノブイリも福島と同じ、また他の事故で唯一の国際原子力放射線事象評価尺度レベル7の事故だからです。チェルノブイリ原発事故は発生から約30年経過しています。現在までの政府の対応、周辺住民の健康状態などを調べて、レベル7の原発事故が私たちに何をもたらすのかを研究します。

東日本大震災以降、原子力発電の再稼働の議論も活発です。食品の汚染被害、風評被害など生活に多大な影響を及ぼしているからです。放射能は目に見えませんが、健康との因果関係も未だ詳細は不明です。だから不安です。私は原発は危険だと考えています。しかし何がどのように危険なのか、自分の言葉で説明できません。そこでチェルノブイリ原発事故を調べて原発について知ろうと考えました。なぜならチェルノブイリも福島と同じ、また他の事故で唯一の国際原子力放射線事象評価尺度レベル7の事故だからです。チェルノブイリ原発事故は発生から約30年経過しています。現在までの政府の対応、周辺住民の健康状態などを調べて、レベル7の原発事故が私たちに何をもたらすのかを研究します。

### チェルノブイリと福島原発 レベル7の事故が問うもの

4年・小島 美奈子

ゼミ生の卒業研究テーマ

## 平成28年度 入学者選抜試験概要 (要約一覧)

※詳細は本学学生募集要項でご確認ください。※出願期間内消印有効。

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格発表日	入学手続期間
推薦入学試験	指定校制	情報文化学部 情報システム学科 35 国際学部 国際文化学科 30			本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。		
	I期 公募制 ・教科成績重視型 ・資格・検定重視型	情報文化学部 情報システム学科 25 国際学部 国際文化学科 10	27年11月2日 11月10日	新潟	〈教科成績重視型〉面接・小論文 推薦要件：全体の評定平均値3.8以上または、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語(英語)のうち、いずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること。 〈資格・検定重視型〉面接・小論文 推薦要件：本学が定めた資格・検定に合格、あるいは成績を修め、かつ全体の評定平均値が3.5以上であること。 ※対象資格・検定は、学生募集要項で確認してください。	27年11月20日	27年11月20日 12月4日
	公募制 スポーツ推薦	情報文化学部 情報システム学科 若干名 国際学部 国際文化学科 若干名			面接・小論文・競技実績 ※対象種目は、学生募集要項で確認してください。		
	II期 公募制 ・教科成績重視型 ・資格・検定重視型	情報文化学部 情報システム学科 5 国際学部 国際文化学科 5	27年12月1日 12月15日	新潟	I期・公募制(教科成績重視型)と同様。 I期・公募制(資格・検定重視型)と同様。	27年12月24日	27年12月24日 28年1月7日
一般入学試験	前期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科 65 国際学部 国際文化学科 35	28年1月5日 1月22日	新潟 上越 長岡 新潟田	・国語：国語総合(現代文)・現代文B ・数学：数学I・数学A ・外国語：コミュニケーション英語I,II,III・英語表現I,II 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用)。	28年2月8日	28年2月8日 2月19日
	大学入試センター試験利用	情報文化学部 情報システム学科 10 国際学部 国際文化学科 10	28年1月25日 2月12日		28年1月16日(出)、17日(入)の大学入試センター試験を受験していること	28年2月22日	28年2月22日 3月4日
	後期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科 10 国際学部 国際文化学科 10	28年2月24日 3月8日	新潟	個別の学力検査等は行わず、平成28年度大学入試センター試験の成績で判定。各学部の利用教科・科目の中から2科目以上選択。 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む)。※各学部で利用教科・科目は異なりますので、学生募集要項で確認してください。	28年3月17日	28年3月17日 3月24日
	帰国生入学試験 外国人留学生入学試験 社会人入学試験	情報文化学部 情報システム学科 若干名 国際学部 国際文化学科 若干名	27年11月2日 11月10日	新潟	面接・小論文	27年11月20日	27年11月20日 12月4日

### 入学時の奨学金

### 高校長推薦 入学試験合格者

合格後に希望者に対し2月28日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。

### 一般入学試験(前期) 受験者

一般入学試験(前期)の試験結果から、上位成績者に年間授業料の半額を給付します。

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。TEL025-264-3777(直) FAX025-264-3780 E-mail nyushiweb@nuis.ac.jp

# オープンキャンパス

高校生はじめ どなたでもご参加できます！

- 学部およびカリキュラム説明
- 入試問題の傾向と対策
- コンピュータ実習
- 個別就職相談
- 学内見学
- 入試情報説明
- 模擬講義
- 語学体験
- 海外留学相談
- 保護者向けプログラム
- 学生との懇談

**会場** 新潟国際情報大学 本校 新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

【参加申込】 本学ホームページ、もしくは下記までお申し込みください。

※時間の変更となる場合もありますので事前にご確認ください。

お問い合わせ先

**新潟国際情報大学 入試・広報課**

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1

TEL 025-264-3777 (直) FAX 025-264-3780

E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

**7・8月 無料送迎バス 運行**  
詳細はホームページをご覧ください

「3Dプリンタ」「ロボット組立」など実験体感コーナー新設！

1回目

**7/19日**  
AM10:30～PM3:30



2回目

**8/2日**  
AM10:30～PM3:30



3回目

**9/6日**  
AM10:30～PM2:30



学生スタッフが運営「七夕Week」を企画



## 学生会館に「MELFカフェ」

新しい学生交流の場「MELFカフェ」が学生会館にお目見えしました。タイムリーなイベントに合わせ期間限定でオープンするもので、学生スタッフを中心となり運営しています。

カフェに訪れていただいた皆さんから多くの提案をいただき、より楽しい交流の場となるよう、七夕にあわせた「七夕Week」を企画しました。このイベントでは本物の笹を用意し、カフェタイムでの七夕の飾りつけと、給湯室を利用した「七夕寒天」づくりも企画しました。

今回のイベントは、学生部委員会の指導の下、学生会館スタッフが初めて企画から準備・運営までを行いました。企画の段階から先生や職員の方々も交えて話し合い、カフェで寄せられた指摘や提案と、学生会館スタッフで考えたアイディアを生かすことができました。今後もまたタイムリーなイベントを企画して交流の機会を広げていく予定です。学生スタッフは月曜日～金曜日の17:00～20:00は学生支援センターにいますので、多くの方々からイベント・企画についての意見・要望をいただけたらと思っています。

これから展開される新しい企画にも、どうぞご期待ください！また、学生会館は土・日曜も開館していますので、ぜひともご利用ください。

## スマホ専用サイト新設

本学では4月から、スマートフォン向けの専用サイトを新設しました。スマートフォンから本学ホームページ (<http://www.nuis.ac.jp/pub/index.html>) へアクセスしていただくと、自動的に専用サイトへリンクします。

大学からのお知らせやニュースなどの最新情報、コンテンツが充実しています。さらにオープンキャンパスなど各種イベントの申し込みなども簡単にできます。ぜひご利用ください。



情報文化学科 2005年度卒業 **山口 季音**

卒業生の便り

博士論文を関西大学大学院文学研究科（教育学専修）に昨年11月に提出し、今年3月に博士の学位を授与され、学生生活に終止符を打つことになりました。今はいくつかの大学の非常勤講師として生活しています。縁あって新潟国際情報大学でも、今年は集中講義を二つ担当することになっています。

## 関西大学大学院から博士の学位

母校を卒業し1年間研究生をした後、福岡の久留米大学大学院で2年間修士論文を執筆し、大阪の関西大学大学院で6年間学びました。慌ただしい毎日で学部卒業から9年もの時間がたった実感はありません。ただ、こうして過去を思い返す機会をいただき、考えてみると長かったなあと感じます。

卒業論文以降、私の研究関心は「子ども社会における暴力」にあります。子どもの暴力は子ども個人の問題ゆえに起こることもありますが、子ども同士が関わり合い創り出す文化が促すものでもあります。こうした子ども社会の力学を突き詰めて考えるため、学校や児童福祉施設での子どもの暴力問題を研究しています。

「子ども社会の力学」研究  
今春から母校でも集中講義



今回書き上げた博士論文は、児童養護施設に関する研究です。貧困や虐待、親との死別など何らかの理由によって家庭で暮らせなくなった子どもが生活する児童福祉施設の一つです。とある児童養護施設で2年間フィールドワークをする機会を得て、施設内での子どもの暴力や学習、職員の支援に着目しながら、施設の子どもの生活・教育環境がどう形作られているのかを描きました。

博士論文執筆は辛かったですが、そこで踏ん張る力は母校での学部4年間と研究生だった1年間に養ったものです。大学に入ってから分らないことだらけでしたが、指導教員の矢口裕子先生をはじめ、多くの先生方のご指導によって、分らないことも考えることをやめない思考のスタミナが身につきました。それが現在の研究生活の基礎になっていることは疑いようがありません。新潟国際情報大学での学びを忘れず、次の目標に向かいたいと思います。